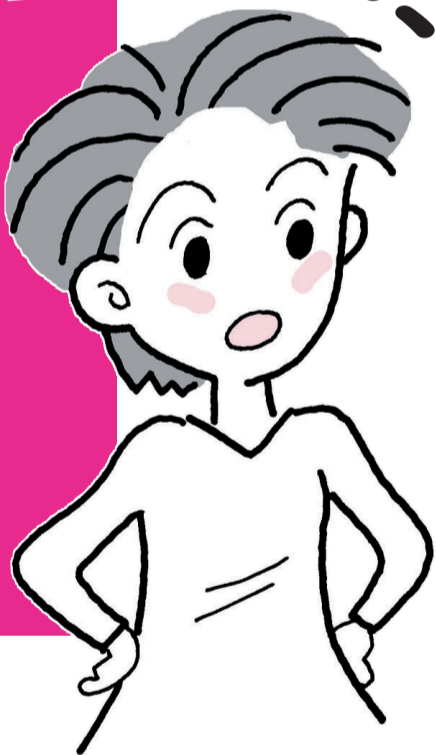


住民投票を成功させましょう

子どもたちに贈る門真の未来、
わたしたちの責任です。

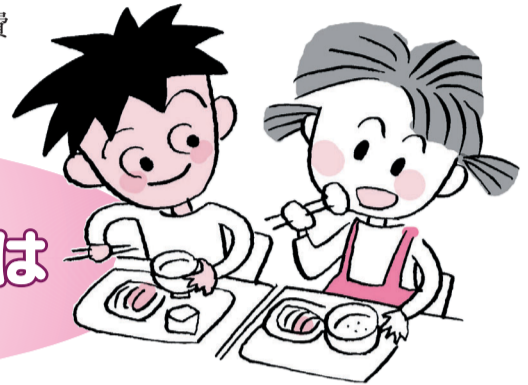


守り続けた中学校給食 合併3年後には 廃止か存続か



守口市では実施されていない中学校給食。合併調整案は、「当面は、現行どおり、合併後3年を目途に調整する」としています。財政危機が合併の理由としているだけに、経費のかかる学校給食の存続が心配されます。

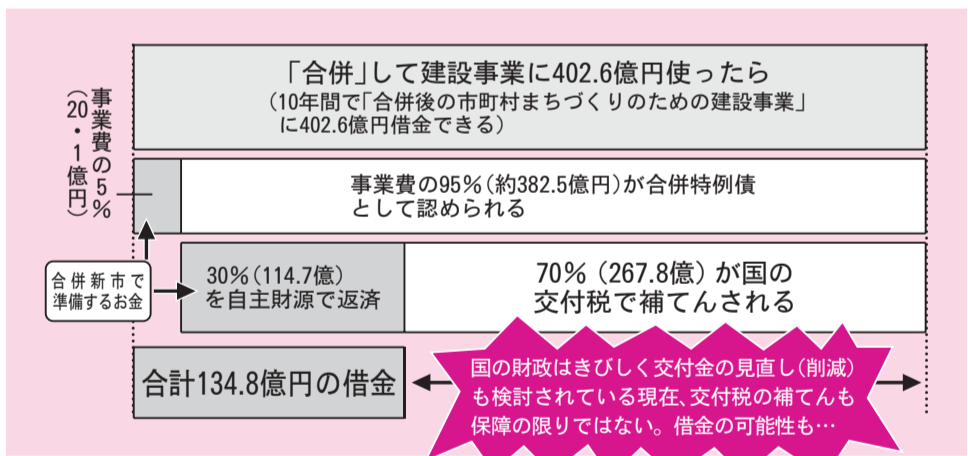
安全、手づくりで
あったかい学校給食は
市民の願い



財政赤字と言いながら 402億で480億の 合併特例債 まちの新生 建設事業?!

「合併特例債を有効に活用してまちの新生に」取り組むとして、480億円の建設事業を予定しています。国からの合併による最大の財政支援策が合併特例債です。しかし、合併特例債は借金です。7割は国の交付税で補てんされますが、3割は借金として残ります。「合併しない場合、両市とも平成19年度には財政再建団体に転落」といいながら、合併特例債を使った「合併バブル」でより一層の財政危機を招く危険性があります。合併特例債はハコモノなどをつくる建設事業にしか使えません。

さらに借金が
増える
合併特例債!



合併した場合の新市の名前

8月26日の第19回合併協議会が開催され、もし合併するのであれば、新市の名前を「守口門真市」にすることが決まりました。市民公募で437票と一番多かったのは、「なみはや市」でした。しかし、「『なみはや』は歴史的に門真市や守口市の地名ではない」との意見が出され、2時間近い議論のすえ、投票となり、1回目の投票で「守口門真市」と「北河内市」に絞られ、決戦投票の結果、16対15のわずか1票差で「守口門真市」に決まりました。現在の市名に愛着があると、多くの意見が出ました。しかし、市民からはこの名前に対して厳しい意見が出されています。